公 式 記 録

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

令和8年度兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技　決 勝 【 145 】

主審署名：大槻　隼人

日 時	2026 年 6 月 7 日 （日） 11 ： 00 キックオフ	会 場	神戸総合運動公園ユニバー記念競技場		
天 候	雨	風	弱風	ピッチ	天然芝（○）・人工芝・クレー
状 態	良好	試合形式	70 分 ／ 延長 20 分 ／ PK戦 有		
運営責任者	笠原　弘樹	会場主任	石塚　俊一	記 録	芝切　淳 ／ 渡邉　悠
観 衆	1,072 人				
主 審	大槻　隼人	副審1	竹内　大典	副審2	井上　礼都
第4の審判員	中川　琢士				

チーム名		前半			チーム名
AIE国際高校 (kick off)	0	0	前半	0	1
		0	後半	1	滝川第二高校
			延前		
			延後		
			PK戦		

PK戦：選手番号 ／ ○× 先（記入なし）

AIE国際高校

No.	OUT時間	延後	延前	後半	前半	選手名	学年	番号	位置
	分					飯野 龍太郎	3年	1	GK
	分					関谷　虎白	1年	5	DF
	分					YUSUFMURTALA IBRAHIM	3年	17	DF
	分					ABUBAKAR ZAKARIYAU	3年	22	DF
	分					森下　鈴斗	3年	4	DF
	分				2	山田　之道	3年	9	MF
	52 分					横内　龍翔	3年	19	MF
	分					実井　美玖人	3年	(7)	MF
	分			1		柳原　康祐	3年	14	MF
	56 分					樋口　旺甫	1年	11	FW
	分			1		西村　朋倭	3年	10	FW
	分					高月　皇希	2年	23	GK
	分					甘中　夢羽	3年	2	DF
19	分					杉浦　優仁	2年	3	DF
	分					丸池　渉夢	2年	6	MF
	分					木元 颯之輔	3年	12	MF
	分					平野　快	3年	8	FW
	分					山添　智己	1年	13	FW
	分					渡部　新丈	2年	15	FW
11	分			1		城本　奏人	3年	18	FW

滝川第二高校

位置	番号	選手名	学年	前半	後半	延前	延後	OUT時間	No.
GK	1	大久保 蒼真	3年					分	
DF	27	田渕　佑弥	2年					分	
DF	2	野本　咲成	3年					分	
DF	(4)	大槻　飛孝	3年					分	
DF	3	大西　堅三	3年					分	
MF	5	安田　暁人	3年					分	
MF	8	宮本　蒼大	3年		1			分	
MF	10	北村　勇貴	3年	1	1*			分	
MF	14	奥村　翼	3年	1	1			分	
FW	9	波多野 蒼大	3年					分	
FW	13	本城　圭太	3年	1	1			分	
GK	12	浦田　桔兵	3年					分	
DF	17	岡田　燈	3年					分	
MF	6	井上　大誠	3年					分	
MF	7	塚田　真翔	3年					分	
MF	16	青木　陸輝	3年					分	
MF	25	大森　晴希	3年					分	
MF	30	森本　星虹	1年					分	
FW	11	在間　悠真	3年					分	
FW	26	大田　悠斗	2年					分	

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
21 分	警	22	ABUBAKAR ZAKARIYAU	反ス	5			3	2	シュート	3	4			7	27 分	警	4	大槻　飛孝	反ス
36 分	警	19	横内　龍翔	ラフ	5			2	3	GK	2	3			5	43 分	警	10	北村　勇貴	ラフ
60 分	警	17	YUSUFMURTALA IBRAHIM	反ス	2			2	0	CK	0	2			2	分				
分					15			10	5	直接FK	6	9			15	分				
分					1			0	1	間接FK	0	0			0	分				
分					0			0	0	PK	0	0			0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
45 分	滝川第二	10	北村	0 － 1	右　10　～　中央　S
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　所属／名前　【 芦屋／上野　大樹 】　【 三田祥雲館／三橋　拓也 】

雨の中、AIE１－５－４－１、滝川第二１－４－４－２でスタート。AIEは5DFで守備を固め、奪ったボールを10番西村に集めながら相手コートに入ると22番ABUBAKARのロングスローで押し込みゴールを目指す。対する滝川第二は奪ったボールを９番波多野、13番本城の２ＦＷに素早くフィード、中盤がサポートを繰り返し分厚い攻撃を仕掛ける。中盤のエリアからの組み立ては２ＣＢにボランチが関わり、右ＳＢ27番田淵が高いポジションをとる。加えて左ＳＢ３番大西が効果的に中央に立ち位置を変えて、左ＳＨ14番奥村がサイドに張る。特に８番宮本が効果的にＤＦラインに入って３バックを形成したり、３番大西とポジションチェンジをしたりしてAIEを混乱させる。前半はセカンドボールの反応の早さや守備意識の高さでAIE10番西村にボールを収めさせず、滝川第二が主導権を握る展開が続いた。AIEはロングスローを中心にチャンスを作ろうとするも得点できず前半を終える。両チーム交代なしで後半に入る。後半も前半同様の試合展開が続くと45分に均衡が破れる。滝川第二10番北村が相手コートでセカンドボールを拾ったあと、３人に囲まれながらもドリブル突破、ゴール左隅に流し込み先制する。失点したAIEは３番杉浦を投入しＤＦだった４番森下をボランチに上げ、右ＳＨ14番柳原の左足ドリブル突破から反撃に出る。試合が進むにつれて滝川第二のセカンドの反応も遅くなり始め、AIEがロングボールのこぼれ球を拾い出すとＣＫやロングスローで押し込みチャンスを繰り返し作るも、滝川第二の最後まで集中した守備でゴールを許さず試合終了。決勝戦に相応しいプレーを披露した両チームに賛辞を送るとともに、滝川第二の全国大会での活躍に期待する。

［備 考］